

事業番号	01 01 03	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	消防防災航空センター運営事業				担当課	部局	危機管理部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	消防課		
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 2 消防対策の推進			E-mail	shobo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H9 ~		

1 事業の概要

目指す姿	○消防防災ヘリコプターを運用し、傷病者の救急搬送、事故や遭難者の救助、林野火災における空中からの消火活動、災害時での救助や緊急物資、医薬品の輸送等を行い、災害応急活動や広域の消防活動を通じて、県民の生命や財産を災害から守る。		
現状	○山岳・山間地を多く抱え、救急・救助の需要が多く、また、林野火災への対応などヘリコプターが消防活動に果たす役割は依然大きい。 ○防災ヘリ墜落事故等を踏まえ、改めて運航管理業務をはじめ安全運航体制の確保に努めている。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 消防組織法第30条 ・ 県地域防災計画	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標（H25）					
	常に迅速に救急・救助の要請に対応できる状態を保つ。 事故件数 0件：引き続き安全運航体制を確保する。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績		
				H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	消防防災航空センター運営事業	直接	消防防災ヘリコプター「アルプス」の運航	117,538	121,426	656,969
			合計	117,538	121,426	656,969

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	96,753	159,086	117,538	656,969
	補正予算	-15,439	-1,944	6,922	
	合計(A)	81,314	157,142	124,460	656,969
	国庫支出金				
	県債				
	その他(繰入金等)		8	9	43,401
	一般財源	81,314	157,134	124,451	613,568
	決算額(B)	80,037	154,774	121,426	
概算人件費	職員数(人)	7.00	7.00	7.00	7.00
	概算人件費(C)	57,806	57,806	57,806	57,806
	概算事業費(B(A)+C)	137,843	212,580	179,232	714,775

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
無事故運航の継続	0件	0件	0件	達成	0件

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部等からの出動要請を受けて、126件の緊急運航(救急・救助・火災防ぎょ・災害応急活動)を実施し、救急救助人数は107人に及んだ。平成26年1月には運航以来の救急救助人数が2000人に達し、その活動に対し知事からほう状が授与された。 平成9年の運航開始以来、16年間無事故運航を続けている。 安全運航、迅速な消防防災活動を行うため、県内消防本部等との連携訓練を精力的に実施した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 山岳地域、山間地域を多く抱える本県では、山岳遭難の救助や林野火災における空中消火などヘリコプターが果たす役割が特に大きく、今後も安全で安定した運航を行うことが求められている。 飛行時間5,000時間を迎える機体の大規模点検整備と消防救急無線のデジタル化を実施する。 災害発生時の応援・受援計画の検証と、計画に基づいた関係機関との調整を進める。
-------------------	---